じゃ～なるインタビュー

新中計を策定、一層の躍進期す

JFEシビル　藤井　善英社長に聞く

藤井社長

売上高1000億円が目標

JFEシビル（本社・東京都台東区、藤井善英社長）は、JFEスチールを親会社とする総合建設会社。大型の物流倉庫や商業施設をはじめとする建設工事の設計・施工を手がけるほか、製鉄所のインフラ保全（鉄鋼土建）、鉄骨造システム建築、耐震・制震デバイスの販売・施工、海外建設事業などに幅広く携わる。こうした事業展開のもと、他社にはない独自性を発揮し、〝特色あるメーカー・ゼネコン〟を標榜する同社の藤井社長に直近の業績と今後の事業戦略を聞いた。

＊　＊

――直近の業績と見通し。

藤井　14年度の連結売上高は716億円、経常利益は35億円となった。これは過去最高の業績で、12～14年度の中期経営計画で目標とした連結売上高600億円、経常利益26億円を大きく超えるものだ。なかでも建築事業の売上高が284億円と最も高く、中期計画を129億円上回ったが、主に大型物流施設の好調な受注がけん引した。大手デベロッパーからの特命案件が増えており、営業コストが削減でき、収益改善にもつながっている。

――新中期計画について。

藤井　今年度から3カ年の新中期経営計画を策定した。終期の17年度に14年度比4割増となる連結売上高1000億円、経常利益50億円を目指す。売上高の内訳は、建築事業が350億円、システム建築事業が200～250億円、鉄鋼土建事業が200億円、社会基盤事業や海外事業などその他が250～300億円。目標達成のため、得意な倉庫建設で高く評価される〝特色あるメーカー・ゼネコン〟となれるよう、技術や人員体制に磨きをかける。

――主な部門の方針。

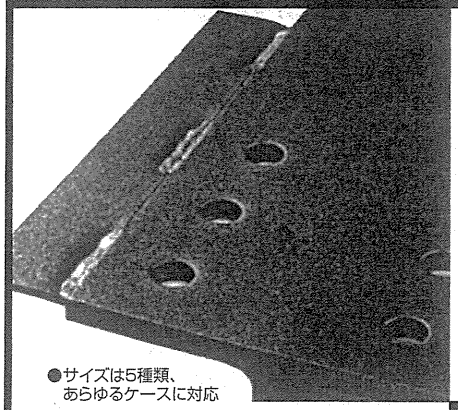
藤井　中核の建築事業は、物流倉庫を中心に堅調な伸びを見込む。加えて、20年のフロンガス全廃を控えて建替え需要が期待される冷凍冷蔵倉庫などにも受注の間口を広げ、プラントエンジニアリング企業のプラント設備敷設に伴う建屋建設の需要を取り込む。システム建築事業では、供給能力の底上げに向けて協力会社を現状の234社から300社に拡大し、当社も材料販売にとどまらず自社施工体制を強化する。神奈川の地場ゼネコンで子会社のJFEコンフォームの関西支店を開設し、4拠点に増やしたのもその一環。同社を施工の実働部隊として活用することで、システム建築の技術改良にも寄与すると考える。

――今年度の事業戦略は。

藤井　新中期初年の15年度は連結売上高730億円、経常利益38億円＋アルファを見込む。重要継続顧客を増やして安定的な収益確保に努めるほか、BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）の導入を進めて業務効率化を図るなど得意分野の倉庫建設を中心に技術を深掘りして受注拡大を図りたい。新たな取り組みでは、ますます需要が高まるインフラの維持・再生に鉄の技術を生かすべく、年内をめどに早稲田大学と共同開発した橋脚の耐震補強工法「橋脚ダンパー工法」を市場投入する。また、格子状に加工した鋼板（グリッドメタル）を使って橋梁などを補強する「グリッドメタル工法」を日本大学と共同開発中。早期の商品化を目指している。

デッキプレート支持材に省力・革新の波　新発売

KONDOTEC
ISO 9001 認証工場



●サイズは5種類、あらゆるケースに対応

デッキプレート支持材 PAT.

コンデッキバー

3大特長

●1/3溶接長　曲げ部が開先の役割、コスト削減。
●片面溶接　溶接は表面だけ、作業効率がグンとあがる。
●静空間　スミ肉溶接のためサンダー掛けが不要で静かな環境。

鉄構営業部　URL: http://www.kondotec.co.jp　E-mail: shinki@kondotec.co.jp

東北営業所 TEL 022(782)0750
福島営業所 TEL 024(927)5112
北関東営業所 TEL 0296(33)1121
関東営業所 TEL 049(229)6011
東関東営業所 TEL 043(216)6166
神奈川営業所 TEL 0455(46)1413
東海営業所 TEL 0542(38)1540
浜松営業所 TEL 053(467)3800
中京支店 TEL 0586(24)7766
京滋営業所 TEL 075(983)5524
関西支店 TEL 06(6582)8020
兵庫営業所 TEL 0794(62)7147
山陽営業所 TEL 082(849)6155
北九州営業所 TEL 09492(2)4943
九州営業所 TEL 0942(43)6010

KONDOTEC コンドーテック
本社 〒550-0024 大阪市西区境川2丁目2番90号